

受験番号 _____

平成 29 (2017) 年度 一橋大学大学院 言語社会研究科博士前期課程 (修士課程)

秋季入学試験問題

第一部門

論 文 問 題

- ・ 試験開始の合図があるまでこの問題冊子を開いてはいけない。以下の注意事項をよく読むこと。
- ・ 一般受験者および社会人受験者は、(1)論文問題 A 群の出題に、問題文に記されている指示に従って解答し、さらに(2) B 群 (01~13) に出題されている問題から 1 問を選んで解答しなさい。
- ・ 外国人留学生受験者は、論文問題 A 群に解答するか、あるいは B 群に出題されている問題すべてのうちから 1 問を選んで解答しなさい。
- ・ 一般受験者および社会人受験者にあつては、「論文問題 A 群」「論文問題 B 群」につき、それぞれ別の用紙を用いて解答すること。
- ・ 論文問題 A 群への解答に際しては、問題文に記されている指示に従って、問いの番号(問い 1、問い 2、問い 3)を「科目欄」の問題番号記入欄に記し、論述に使用する語群①②からそれぞれ 2 つずつ選んだキーワードを、解答の前の一行目に記すこと。
(例：語群 ① = × ×、□□、語群 ② = ○○、▲▲)
- ・ 論文問題 B 群への解答に際しては、解答用紙の科目欄に、選択した問題番号を記入すること (例:B01、B04 など)。
- ・ 解答に際して用紙 1 枚では不足の場合、試験監督員に申し出て追加配布を受けること。
- ・ 本冊子は持ち帰ってはいけない。上部の受験番号欄に必ず受験番号を記入しなさい。

A 群

問い 次の語群①②から、それぞれキーワードを二つずつ選び、それら四つのキーワードをすべて用いて、下の問い1～3のいずれかに答えなさい。

解答に際しては、どの問いとキーワードを選択したか、問題冊子表紙の指示に従って記すこと。

語群①

稀少性 再生産 民族 positive 弁証法 青年 滑稽

錯誤 天真爛漫 労働 対称性 humanism

語群②

ペンギン 大学通り あさがお 鍵穴 カジノ 郵便ポスト

ビッグデータ 正門 象形文字 バットマン 健康食品 はさみ

問い1 あなたにとって「故郷」という語が何を意味するかについて論述しなさい。

問い2 あなたが思い描く百年後の世界を記述した上で、現代の視点からその世界を論評しなさい。

問い3 夢を見ることの当否について論述しなさい。

B 群

01 次の文はフランスの哲学者アラン(1868―1951)が、第一次世界戦争の従軍経験をもとに書き記した文章です。真、善、美の關係に注意を払いつつ論評し、みずからの見解を述べなさい。

権利關係により非公開

(『軍神マルス、あるいは裁かれた戦争』、1921年)

02 現在、世界各地で多くの言語が消滅しつつある。現在世界では約 7000 の言語が話されているとされるが、そのうちの約 4 分の 1 は話し手の数が 1000 人以下である。21 世紀が終わる頃には、現在話されている言語の数は半減するであろう、と予言する言語学者がいるほどである。こうしたことを踏まえて、以下の二つの問いに答えなさい。

1. 言語(「○○語」)が消滅するまでに、どのような過程を経るのか、また、その背景にはどのような理由があると考えられるか。社会言語学的観点から論じなさい。
2. このような「言語の消滅」の傾向に対して、どのような態度をとるべきであるとあなたは思うか。なお、どのような解答をするにせよ、その理由付けを述べること。

03

権利關係により非公開

(Jonathan Culler, “Presupposition and Intertextuality” (1976))

ここで言われる「エネルギーを解放するために二つ[または、それ以上]のテキストをこすり合わせる」という操作について、(1)具体的な文学作品を例に詳しく記述したうえで、(2)そのケース・スタディが持つ文学史的または文学／批評理論的〈意義〉を論じなさい。

04 自然によって産出される美と人間によって創造される美とのあいだには、いかなる関係があるか。またその関係およびそれに関する思考は、文学や視覚芸術の分析・批評にどのような影響を与えるか。具体的な作家や作品(思想的、理論的著作を含む)に言及しながら以上の問いに答えなさい。

- 05 日本近代文学(小説)における文末詞「た」の役割について述べなさい。
- 06 中国近現代文学史もしくは台湾文学史において、翻訳が果たした役割について、具体的な事例を挙げつつ、論じなさい。
- 07 ドイツ語圏の文学・思想などの任意の言語作品(複数可)を取り上げ、下のテーマのうち一つを選んで論じなさい。その際、取り上げた例に即して選んだテーマについてなるべく具体的に論じること。
- ア) 芸術と技術
 - イ) 世界における個人の位置
 - ウ) 信仰と理性
- 08 西暦 2000 年代にはいって日本において問題になった言語問題をとりあげ、簡単な紹介とともに自身の見解を述べなさい。
- 09 「音楽演奏に現れる社会」について、具体例を挙げつつ、あなたの考えるところを述べなさい。
- 10 「詩」と「論」の関係について、書記言語と音声言語の関係あるいは文学と音楽の関係を念頭に置きながら、自由に論じなさい。
- 11 「許すということは、忘れることではない」というのは、アレクサンドル・デュマの作品の中でイ
14 世が発した言葉である。この言葉を参考にしながら、寛容と不寛容をめぐる問題について論じなさい。そのさい、過去の具体例と現在の具体例をひとつずつ挙げること。
- 12 芸術研究におけるイコノロジー(図像解釈学)の可能性と限界を、具体的な作品や事象に即して論じなさい。言及する対象は一つでも複数でも構わない。

13 以下の文章を読んで、①②に答えなさい。①②の答えは順番に記してもよいし、混在させてもよい。

①この文章を批判しなさい。

②この文章がより良いものになるように推敲しなさい。

「言社研太郎監督の代表作『ほんとにあった言社研』（2020年、92分）は、Jホラー映画の手法をふんだんに用いながら、人文系大学院生の日常生活を活写しつつ学問の未来についての問いを広く投げかけるものだとされている。従来の研究では、多くの謎めいた場面に無用とされる人文学者とその卵たちの挫折と絶望が読み取られ社会に蔓延する効率主義の批判の映画としてみなされてきた。しかし当時弱冠26歳だった監督は、「人文学の衰退の責任は人文学者自身にあるんじゃないの」という発言をしており、監督の意図はむしろそこにはなくこの映画における批判の対象はむしろ彼ら自身のほうであるというのが正しい見方であることは疑いない。文献学者が薄闇の中に座ってパソコンの待機画面を見ながら途方にくれているシーンでは、待機画面の動画が美しい幾何学模様をモチーフにしたものであるところから様々な象徴解的議論が導かれてきたが、監督の自伝を紐解けば、これは単に、かつて彼の侮蔑と同情の対象であった「情弱」教授のカリカチュア以外の何物でもないことは明らかである。彼は進みゆく時代とみずからの伝統意識との間で無力に宙吊りになっているのだ。

こうして、『ほんとにあった言社研』は社会批判というよりも人文学批判の映画であったことがわかった。監督はこの映画で、若い日にみずからがその無用さに苦しんだ人文学との決別を意図していたのである。」